



プレスリリース

チューリヒ、2023 年月日

ヨハンナ・シュペーリ／ハイジ関連文書がユネスコ「世界の記憶」に登録される

チューリヒのヨハンナ・シュペーリ関連文書およびハイジ関連文書が、ユネスコの「世界の記憶」に登録されました。この選定結果はユネスコ「世界の記憶」執行委員会によって承認済みで、当該文書の世界的価値を知らしめるものです。当該文書を保管する二つの文書館と共同で、チューリヒ大学が当該コレクションの学術的価値を精査していきます。

ハイジはスイスの文化遺産として 100 年以上の歴史を刻み、世界中の絵画やポップカルチャーに影響を及ぼしています。チューリヒには、このグローバルな現象になったハイジに関する貴重なコレクションが二つあります。チューリヒ大学と連携するスイス児童メディア研究所（SIKJM）内に設けられたヨハンナ・シュペーリ文書館と、ハイジ資料館の所蔵品です。ハイジの原作者は、チューリヒに暮らした女性作家ヨハンナ・シュペーリです。上述のようにチューリヒ大学が学術的な観点から二つのコレクションの研究に携わります。

ユネスコの「世界の記憶」（記憶遺産）プロジェクトは、文書という形で残された文化遺産を後世に伝えるため、1992 年に開始されました。貴重な文書を保護し、その存在を広く世に知らしめ、多くの人の目に触れるようにするのが、この事業の目的です。

「世界の記憶」は、並外れた価値を持つ文書の国際的なリストを作成しています。このリストに選ばれるのは、文化的アイデンティティを保存し、集合的記憶のよすがとなり、過去と現在の架け橋になるような、グローバルな意義があると認められる文書です。

書籍、未公刊手稿、書簡

ヨハンナ・シュペーリ文書館とハイジ資料館の所蔵品をユネスコ「世界の記憶」へ登録する申請は、チューリヒ大学の協力のもと、スイス・ユネスコ委員会の後援を受けて行われました。両館が所蔵する現物資料には、シュペーリの未公刊の原稿や手紙、『ハイジ』のイラスト原画などが含まれます。

ヨハンナ・シュペーリ文書館は SIKJM の運営団体であるヨハンナ・シュペーリ財団によって 1968 年に設立されました。チューリヒで暮らした作家シュペーリに関する文献を世界中から集めています。収蔵されているのは、シュペーリ作品以外に、1000 点以上にのぼる手稿、写真、イラスト原画、映像化作品などです。さまざまな言語への『ハイジ』翻訳やシュペーリについての研究文献もあります。シュペーリ本人が遺した品々も保管されています。ヨハンナ・シュペーリ文書館はチューリヒの SIKJM 内の一般公開された図書館に併設されており、文豪 C・F・マイヤーからシュペーリへの手紙など、特に貴重な手稿類はチューリヒ中央図書館で保管されています。

ハイジ資料館のハイジ関連資料は、「ハイジ」に関する歴史的な品々を集めた、稀に見るコレクションです。20 以上の言語への初期の翻訳や、さまざまなバージョンの書籍があります。ヘブライ語コレクションは、1946 年から今日に至るまでのヘブライ語訳をすべて網羅した、唯一無二のコレクションです。そこには、カフカの親友マックス・ブロートの手書き献辞入りの初版本も含まれています。これらの資料を手がかりに、著作権が消滅した 1931 年までの最初期のハイジ翻訳史、受容史、影響史を研究することができます。他に、イラスト原画や出版社に残された資料、書簡などの



収集にも力を入れています。ハイジ資料館は1880年に描かれた世界初のハイジ・イラストの下絵現物も所蔵しています。これらの貴重な資料をもとに、140年に及ぶハイジ受容史を多くの人に見てもらうため、ハイジ資料館はチューリヒ市内に常設展示場を設けることを計画しています。

ハイジ解釈の多様性

原作小説の第1部『ハイジの修業時代と遍歴時代』と第2部『ハイジは習ったことを役立てる』は、それぞれ1880年と1881年に出版されました。それ以来、この小説は世界を旅して回り、児童文学の古典として世界中で読まれています。驚くほど多くの翻訳や翻案が生まれ、世界の児童文学やポップカルチャーに巨大な影響を与えてきました。数えきれないほどの訳本、絵本、漫画、映像化作品などが作られ、「ハイジ」はもはや我々の日常の風景の一部になったとさえ言えます。

「ハイジの国際的な人気の面白い点は、それぞれの国や地域の文化的・社会的・政治的な背景によって解釈の多様性が生まれていることです。さらに、解釈は時代とともに変化し、成長していきます」とチューリヒ大学の児童メディア研究者クリスティーネ・レッチャー教授は言います。ハイジはロマン主義的に理想化された子ども像だと解釈することもできますが、都市と田舎の架け橋になる存在、人間と自然の仲介者と解釈することもできます。

チューリヒ大学

クリスティーネ・レッチャー教授
児童メディア研究

スイス児童メディア研究所内、ヨハンナ・シュペーリ文書館
マリア・ベッカー博士
文書館長

プリスカ・ブーハー
児童メディア研究所長

ハイジ資料館

ペーター・ビュトナー博士
資料館長

スイス・ユネスコ委員会
ニコラ・デュシメチエール
マルティン・ボードマー財団副理事長、スイス・ユネスコ委員会委員